

## 【調査結果】

### 1. お住まいの地域や日常生活について

#### 問1 あなたが、今のお住まいの場所を選ばれた理由は何ですか。(複数回答)

- ・平成23年度調査と同様に“環境”を重視する傾向が見られている。
- ・「住宅地そのものの環境」(36.3%)の割合が最も高く、次いで「家から最寄駅までの交通の便」(33.3%)、「自然環境」(31.9%)、「最寄駅から通勤・通学先までの交通の便」(21.8%)、「家庭の事情」(21.4%)、「買い物の便」(17.5%)となっている。

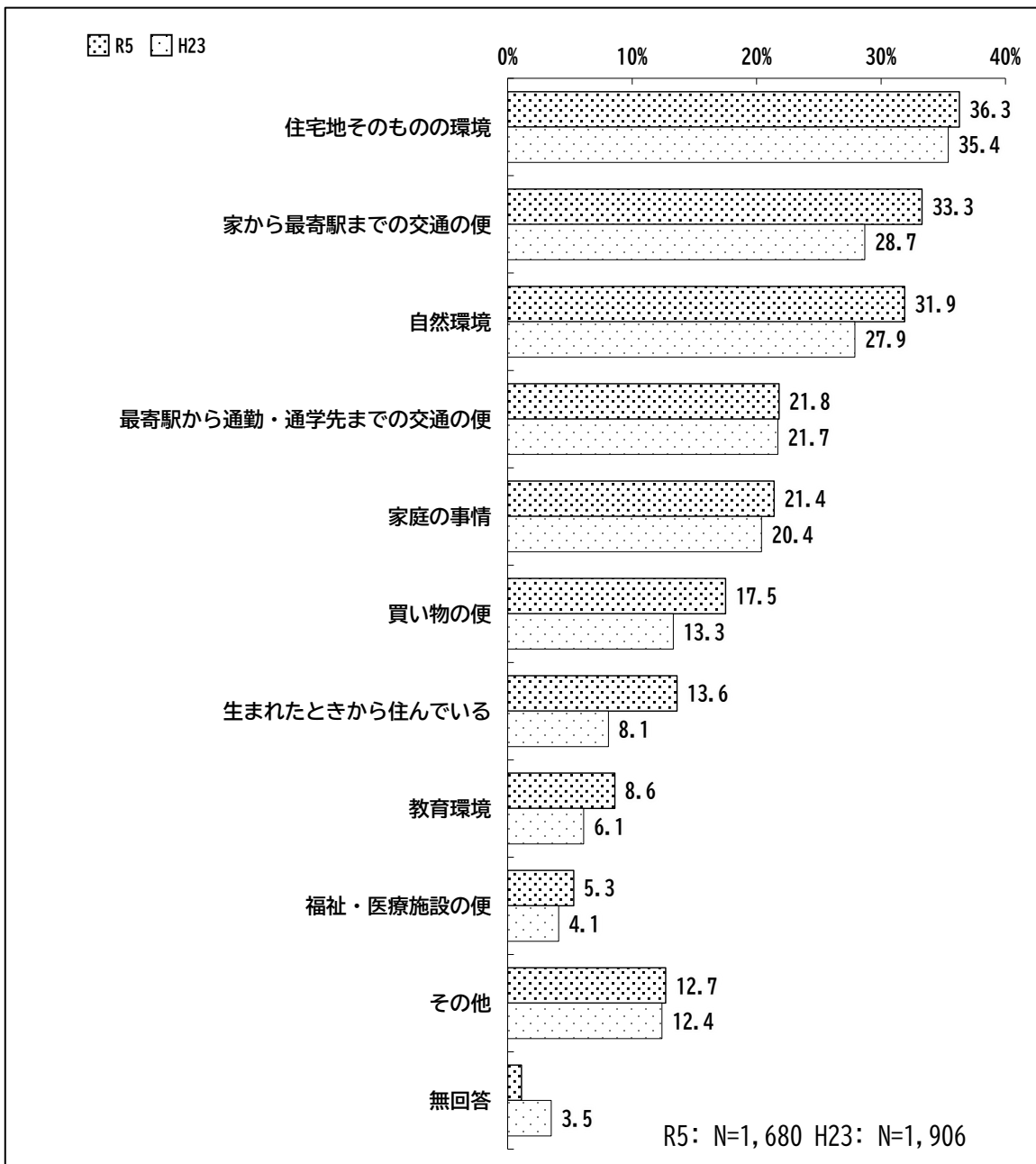


図 今の居住地を選んだ理由

## ■ 居住地区別 居住理由

- ・「富岡第二地区」、「富岡第三地区」、「富岡西・能見台地区」、「金沢中部地区」、「金沢地区」、「六浦地区」では、「家から最寄駅までの交通の便」の割合が最も高く、「富岡第一地区」、「能見台地区」、「金沢シーサイドタウン地区」、「金沢東部地区」、「六浦西地区」、「釜利谷地区」、「大川地区」では「住宅地そのものの環境」の割合が最も高くなっている。
- ・「能見台地区」では「自然環境」、「六浦東地区」では「生まれたときから住んでいる」が、他地域と比べ高くなっている。

表 居住地区別 居住理由

	合計	問1 今の住まいを選んだ理由 (%)										
		家から最寄駅までの交通の便	最寄駅から通勤・通学先までの交通の便	自然環境	教育環境	住宅地そのものの環境	買い物の便	福祉・医療施設の便	生まれたときから住んでいる	家庭の事情	その他	無回答
全体	1680	33.3	21.8	31.9	8.6	36.3	17.5	5.3	13.6	21.4	12.7	1.1
F8 居住地区	(N)											
富岡第一地区	50	30.0	20.0	22.0	6.0	38.0	8.0	2.0	8.0	26.0	22.0	0.0
富岡第二地区	52	46.2	26.9	34.6	1.9	19.2	15.4	1.9	17.3	25.0	13.5	0.0
富岡第三地区	74	37.8	27.0	18.9	9.5	35.1	4.1	4.1	8.1	29.7	13.5	0.0
富岡西・能見台地区	83	57.8	30.1	24.1	8.4	51.8	32.5	4.8	4.8	14.5	6.0	1.2
能見台地区	114	20.2	12.3	50.9	9.6	61.4	17.5	7.0	4.4	21.9	9.6	1.8
金沢シーサイドタウン地区	172	33.1	22.1	40.7	16.3	47.1	33.1	8.7	4.7	21.5	14.0	1.2
金沢東部地区	108	40.7	27.8	34.3	13.0	45.4	18.5	7.4	15.7	13.9	8.3	0.9
金沢中部地区	69	56.5	26.1	26.1	7.2	31.9	31.9	7.2	21.7	18.8	8.7	0.0
金沢南部地区	141	30.5	25.5	35.5	6.4	23.4	15.6	6.4	18.4	19.9	14.9	0.0
金沢地区	107	35.5	25.2	28.0	5.6	19.6	19.6	7.5	29.0	23.4	11.2	0.0
六浦東地区	39	33.3	10.3	17.9	2.6	7.7	10.3	12.8	33.3	12.8	15.4	0.0
六浦地区	95	35.8	15.8	26.3	3.2	23.2	17.9	4.2	17.9	28.4	10.5	1.1
六浦西地区	225	29.3	18.2	23.6	6.7	33.8	9.3	3.1	14.2	22.2	19.6	1.8
釜利谷地区	269	23.8	21.9	34.9	11.2	39.4	15.2	2.6	12.6	21.9	9.7	1.5
大川地区	44	22.7	20.5	36.4	6.8	45.5	2.3	4.5	9.1	15.9	13.6	4.5
その他	7	42.9	28.6	28.6	14.3	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
無回答	31	32.3	16.1	41.9	3.2	19.4	9.7	3.2	6.5	22.6	19.4	6.5

## ■ 年齢別 居住理由

- ・「10～20 歳代」では「生まれたときから住んでいる」、「30 歳代」では「最寄駅から通勤・通学先までの交通の便」、「40 歳代」では「家庭の事情」、「50 歳代」「70 歳以上」では「住宅地そのものの環境」の割合が最も高い。「60 歳以上」では「自然環境」の割合も高い。

表 年齢別 居住理由

	合計	問1 今の住まいを選んだ理由 (%)										
		家から最寄駅までの交通の便	最寄駅から通勤・通学先までの交通の便	自然環境	教育環境	住宅地そのものの環境	買い物の便	福祉・医療施設の便	生まれたときから住んでいる	家庭の事情	その他	無回答
全体	1680	33.3	21.8	31.9	8.6	36.3	17.5	5.3	13.6	21.4	12.7	1.1
F2 年齢	(N)											
10 歳代～20 歳代	114	13.2	16.7	4.4	5.3	7.0	5.3	0.9	44.7	28.1	7.9	2.6
30 歳代	134	26.9	29.1	22.4	12.7	26.1	15.7	3.0	22.4	20.9	13.4	0.0
40 歳代	233	28.3	24.9	29.6	13.3	30.0	17.2	3.0	13.7	31.8	10.3	0.4
50 歳代	300	39.0	23.7	31.0	7.7	40.0	17.0	4.7	10.7	23.0	16.0	0.0
60 歳代	305	33.4	23.0	36.1	6.9	35.1	21.3	4.6	11.5	19.3	14.4	0.3
70 歳以上	571	38.0	18.6	38.4	8.1	45.9	19.1	8.4	8.4	15.9	11.4	2.3
65歳～74歳	341	33.4	19.6	34.6	6.7	38.7	18.5	5.9	10.3	17.9	14.1	1.2
75歳以上	359	40.4	18.7	41.5	7.8	48.7	21.2	9.7	7.5	15.3	10.9	2.5
無回答	23	26.1	17.4	43.5	4.3	30.4	8.7	4.3	4.3	26.1	26.1	4.3

問2 あなたが、お住まいの場所から最寄駅までの交通機関は何ですか。(単一回答) また、お住まいの場所から最寄駅までは何分くらいかかりますか。

- ・「徒歩」(64.0%)が6割以上を占め、次いで「バス」(24.3%)、「自転車」(6.5%)、「自家用車」、「バイク」ともに1.6%となっている。

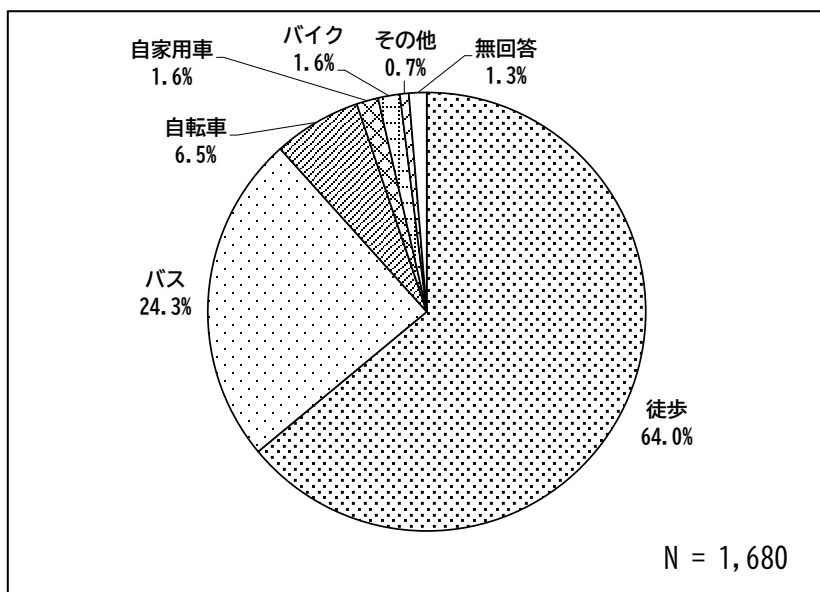


図 最寄駅までの交通機関

■ 居住地区別交通機関

- ・ほとんどの地区は「徒歩」の割合が最も高く、「能見台地区」、「釜利谷地区」、「大川地区」では「バス」の割合が最も高い。

表 居住地区別 交通機関

		合計 (件)	問2 最寄り駅までの交通機関 (%)						
			徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	その他	無回答
全体		1680	64.0	6.5	1.6	1.6	24.3	0.7	1.3
F8 居住地区	富岡第一地区	50	86.0	0.0	2.0	2.0	8.0	2.0	0.0
	富岡第二地区	52	86.5	1.9	0.0	3.8	7.7	0.0	0.0
	富岡第三地区	74	79.7	0.0	0.0	1.4	16.2	0.0	2.7
	富岡西・能見台地区	83	92.8	0.0	1.2	0.0	3.6	0.0	2.4
	能見台地区	114	22.8	9.6	0.9	1.8	64.0	0.0	0.9
	金沢シーサイドタウン地区	172	91.9	5.2	0.6	0.0	0.0	0.6	1.7
	金沢東部地区	108	80.6	3.7	1.9	0.9	12.0	0.0	0.9
	金沢中部地区	69	92.8	1.4	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0
	金沢南部地区	141	70.2	6.4	0.0	0.7	20.6	0.7	1.4
	金沢地区	107	78.5	13.1	0.0	0.0	4.7	3.7	0.0
	六浦東地区	39	89.7	7.7	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	六浦地区	95	65.3	8.4	1.1	1.1	22.1	1.1	1.1
	六浦西地区	225	52.4	5.3	2.2	1.3	36.9	0.4	1.3
	釜利谷地区	269	35.7	11.2	4.5	4.1	42.8	0.4	1.5
	大川地区	44	0.0	4.5	4.5	4.5	86.4	0.0	0.0
	その他	7	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	無回答	31	54.8	12.9	0.0	6.5	12.9	3.2	9.7

**問3 あなたは、これからも今のお住まいの場所に住み続けるお気持ちですか。(単一回答)**

- ・「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせると78.0%であり、この傾向は、令和元年度調査(77.8%)からほぼ変わっていない。一方、令和5年度横浜市調査(72.8%)と比較すると金沢区のほうが5.2ポイント高く、金沢区民の定住志向の高さが伺える。

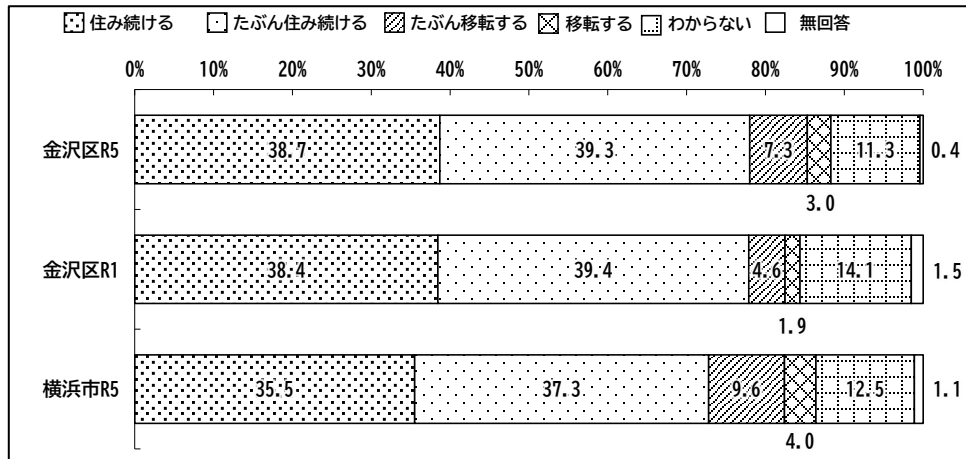


図 今後の居住意向比較

**■ 年齢別 今後の居住意向**

- ・「60歳代」以下では、「たぶん住み続ける」の割合が最も高く、「70歳代以上」は「住み続ける」の割合が最も高い。

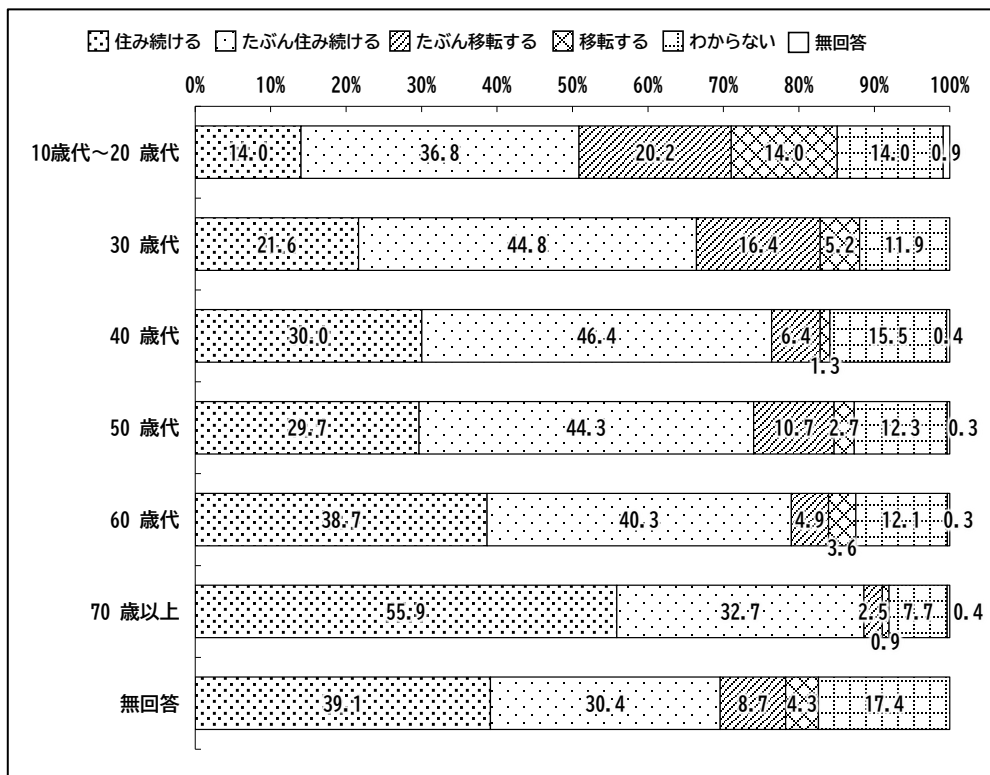


図 年齢別 今後の居住意向

## ■ 居住形態別 今後の居留意向

- ・「社宅・寮等」以外は、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせた割合が、高くなっている。特に、持家の「一戸建て」と「共同住宅(分譲マンション等)」が「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせた割合は、8割を超えている。
- ・「持家」については、P.7「居住形態」で示したように、「持家一戸建て」と「持家共同住宅(分譲マンション等)」を合わせて8割以上を占めているので、結果、多くの区民が「住み続ける」意向と考えられる。

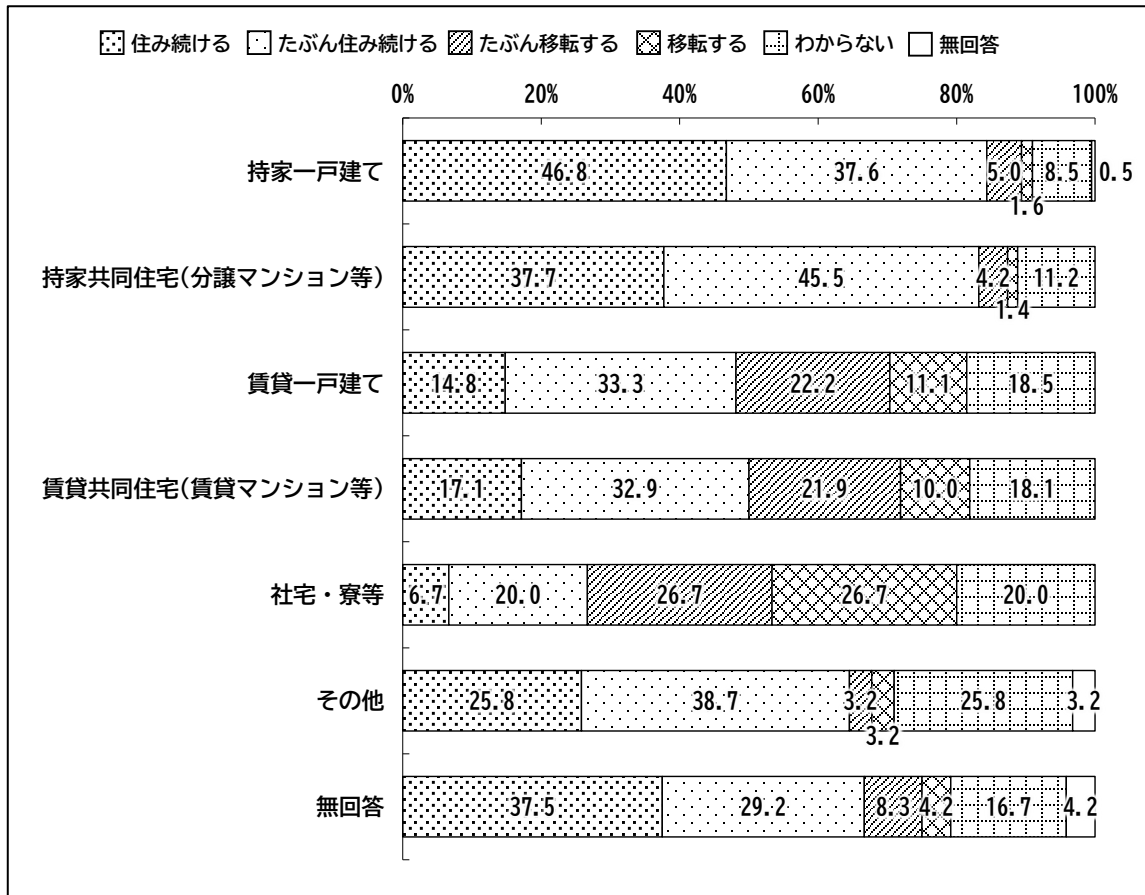


図 居住形態別 今後の居留意向

**問4 あなたは、今のご自身の生活や身近な地域の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。(単一回答)**

- ・P.20の「 生活や身近な地域の暮らしやすさについて」で示すように、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合が、全ての項目で高くなっている。ただし、「そう思う」の割合が、他の選択肢と比べて高いのは、「総合的に暮らしやすい」のみで、他は、全て「どちらかというと思う」の割合が高くなっている。

**■ 令和元年度調査との比較**

- ・前回と比較してポジティブ回答(そう思う+どちらかというと思う)が増加しているように見かけ上見えるが、前回は選択肢に「わからない」が入っているため単純比較はできない。ただ、傾向で見ると「総合的に暮らしやすい」のポジティブ回答が高いことに変わりはない。

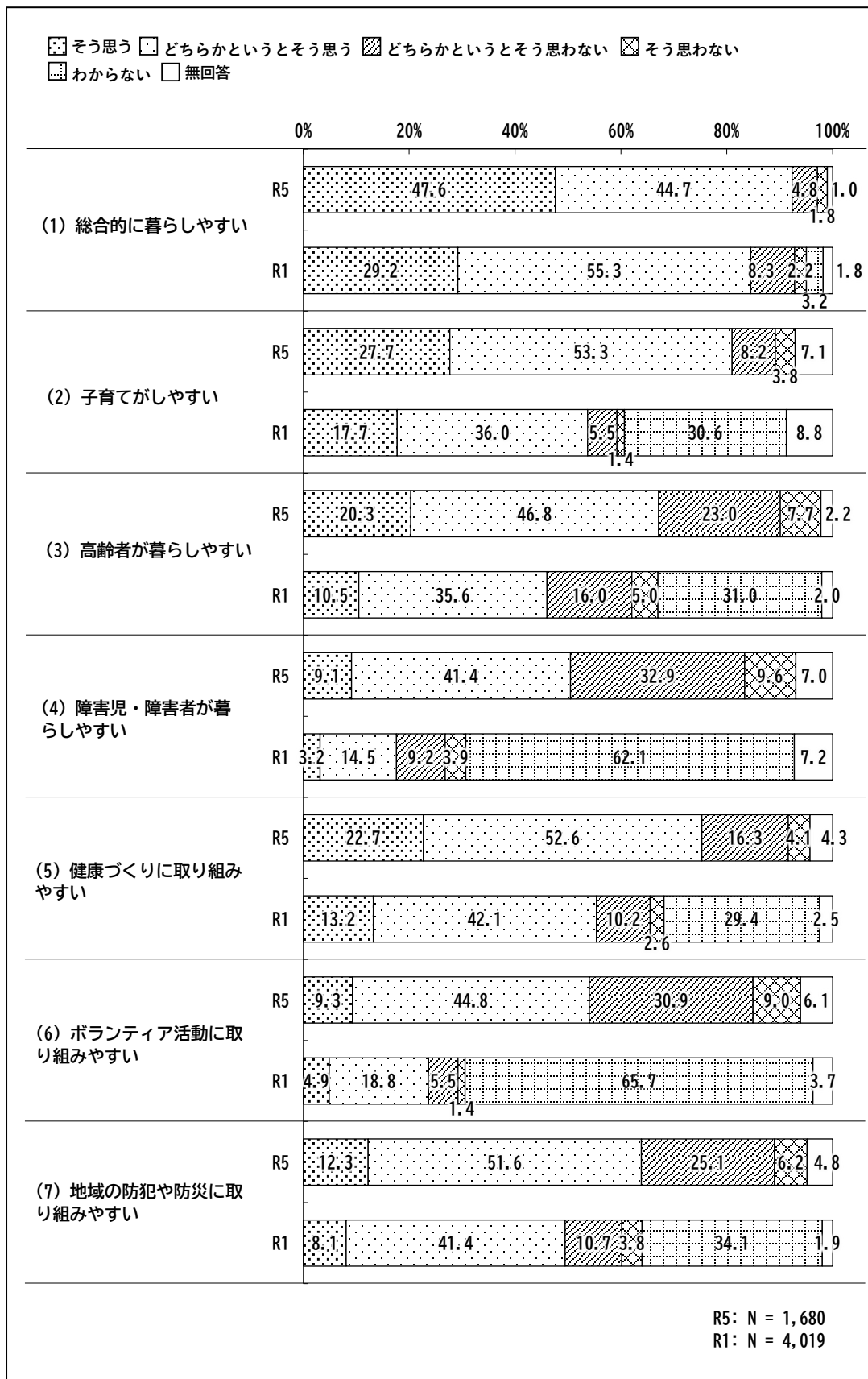


図 生活や身近な地域の暮らしやすさについて

## ■ 暮らしやすさと今後の居留意向

・P.20 の「図 生活や身近な地域の暮らしやすさについて」で示すように、「総合的に暮らしやすい」は「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた割合が 92.3%を占めており、その中の「そう思う」を選択した人が居留意向について、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせて 87.0%、「どちらかというと思う」を選択した人が、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせて 73.7%と 7 割以上を占めている。

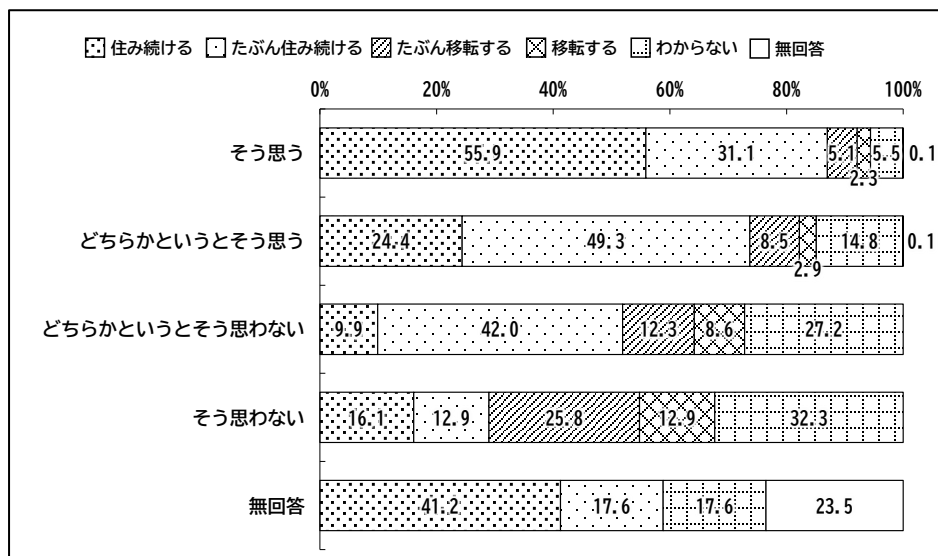


図 総合的に暮らしやすい別 今後の居留意向

問5 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(1)～(9)の項目において単一回答)。

・「困っていない」と「どちらかという困っていない」を合わせた割合が、全ての項目で 7 割を超えている。「困っていない」の割合で見ると、「子どもの保育や教育のこと」(51.8%)と「近隣との人間関係」(50.7%)で 5 割を超えている。

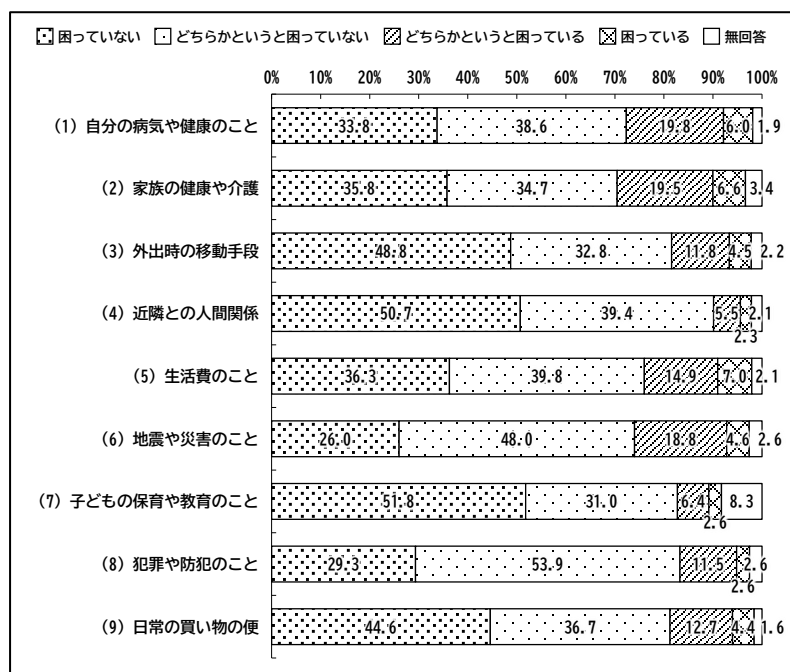


図 自分やご家族の生活の心配ごと



■ 令和元年度調査（参考）

- ・令和元年度調査は該当する項目を3つ選択する方式を取っているため単純に比較はできないが、参考情報として以下に記す。
- ・令和5年度調査では、「困っている」と「どちらかという困っている」を合わせた割合が高い順は、「家族の健康や介護」（26.1%）、「自分の病気や健康のこと」（25.8%）、「地震や災害のこと」（23.4%）、「生活費のこと」（21.9%）となっている。令和元年度調査の上位選択を見ると、順位に入れ替わりはあるが、同様の傾向が見られる。

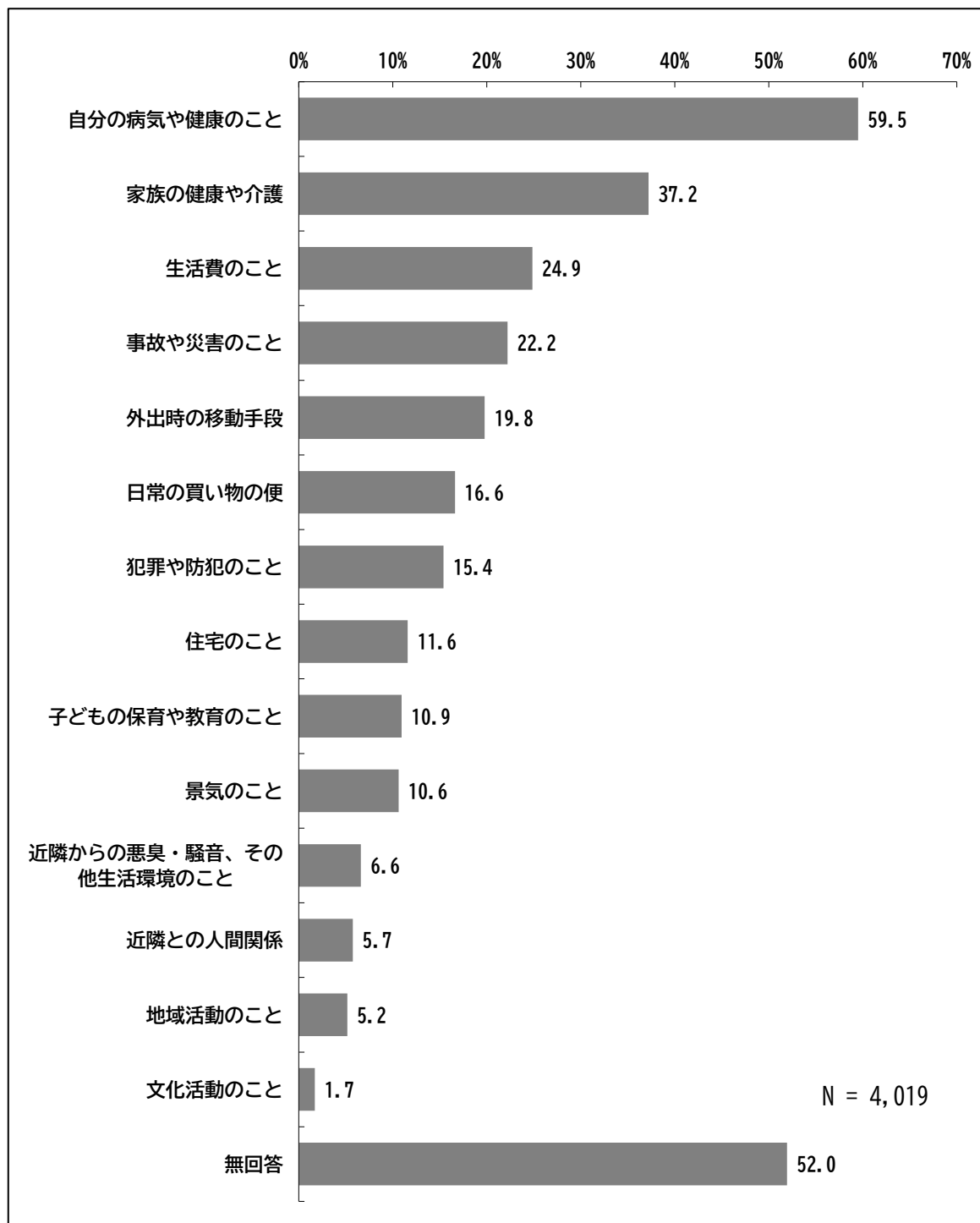
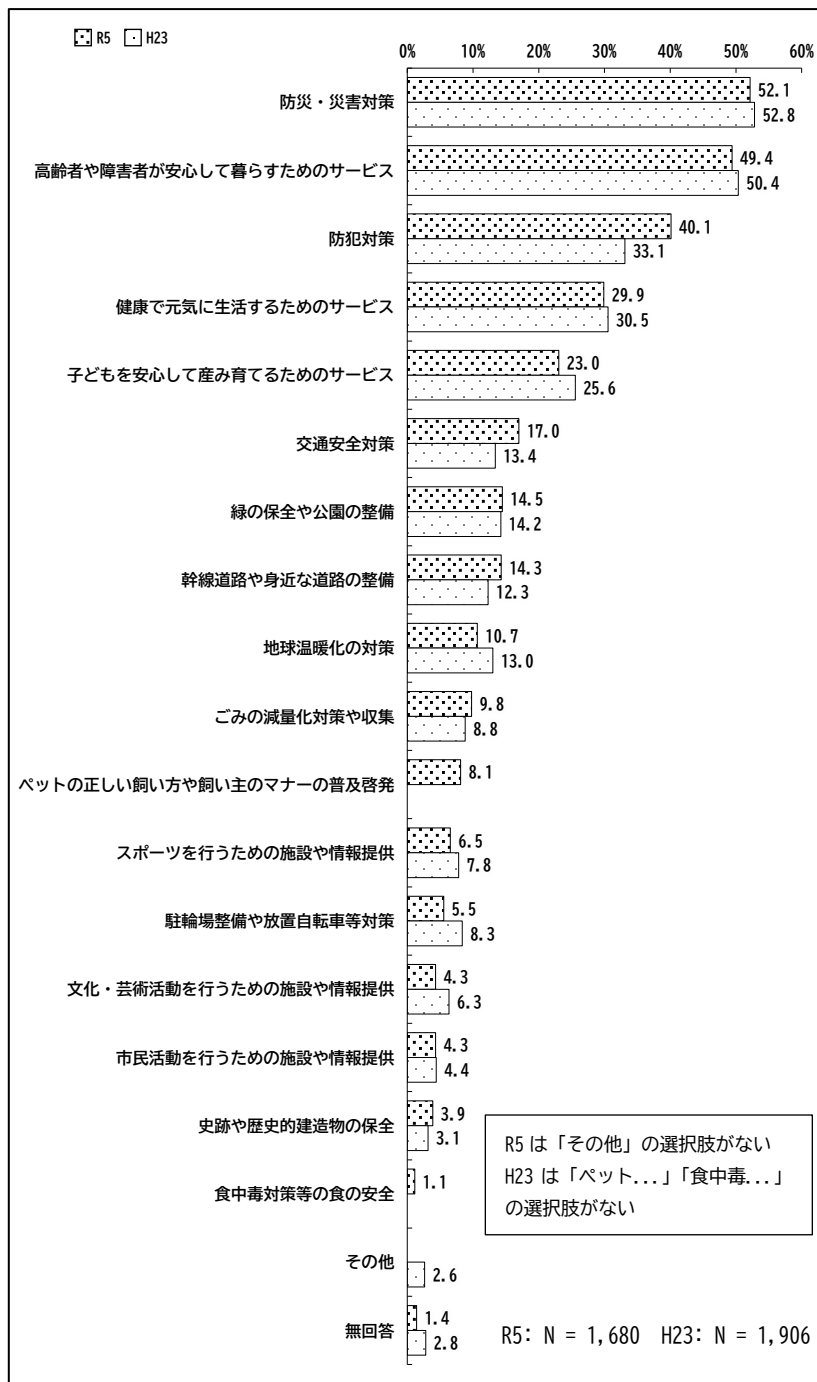


図 令和元年度調査

**問6 あなたが、日常生活を送っているなかで、行政に特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。(上位3つを選択)**

- ・ 1位～3位に選択された項目の合計数を多い順に並べると、「防災・災害対策」、「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」、「防犯対策」、「健康で元気に生活するためのサービス」、「子どもを安心して産み育てるためのサービス」、「交通安全対策」と続いている。このような生活における安全・安心を重視する傾向は、H23年度調査と同様である。
- ・ 「ペットの正しい飼い方や飼い主のマナーの普及啓発」は、前回は0%であるが、今回新設項目の為である。



**図 行政に力を入れてほしいと思う施策**

## 問7 地域で行われている活動への参加の有無を教えてください。(単一回答)

- ・P.25の「図 地域で行われている活動の参加有無」で示すように、全調査15項目のうち14項目で、「(参加したことが)ない」が、5割を超えている。一方、「(参加したことが)ある」で、5割を超えているのが、「祭りや運動会などのイベント」となっている。次に高い「住民同士のちょっとした助け合い」は、42.6%となっている。

### ■ 令和元年度調査との比較

- ・地域活動への参加は、新型コロナ前のR1調査に比べて横ばいか、やや増加している傾向にある。その中でも「祭りや運動会などのイベント」や「住民同士の助け合い」が、R1調査より10ポイント以上増加するなど、新型コロナを境に地域活動への参加の意識が変化している可能性が見受けられる。

\*選択肢が、R1調査とR5調査で異なっているため単純比較はできないが、参考として並べて記載している。

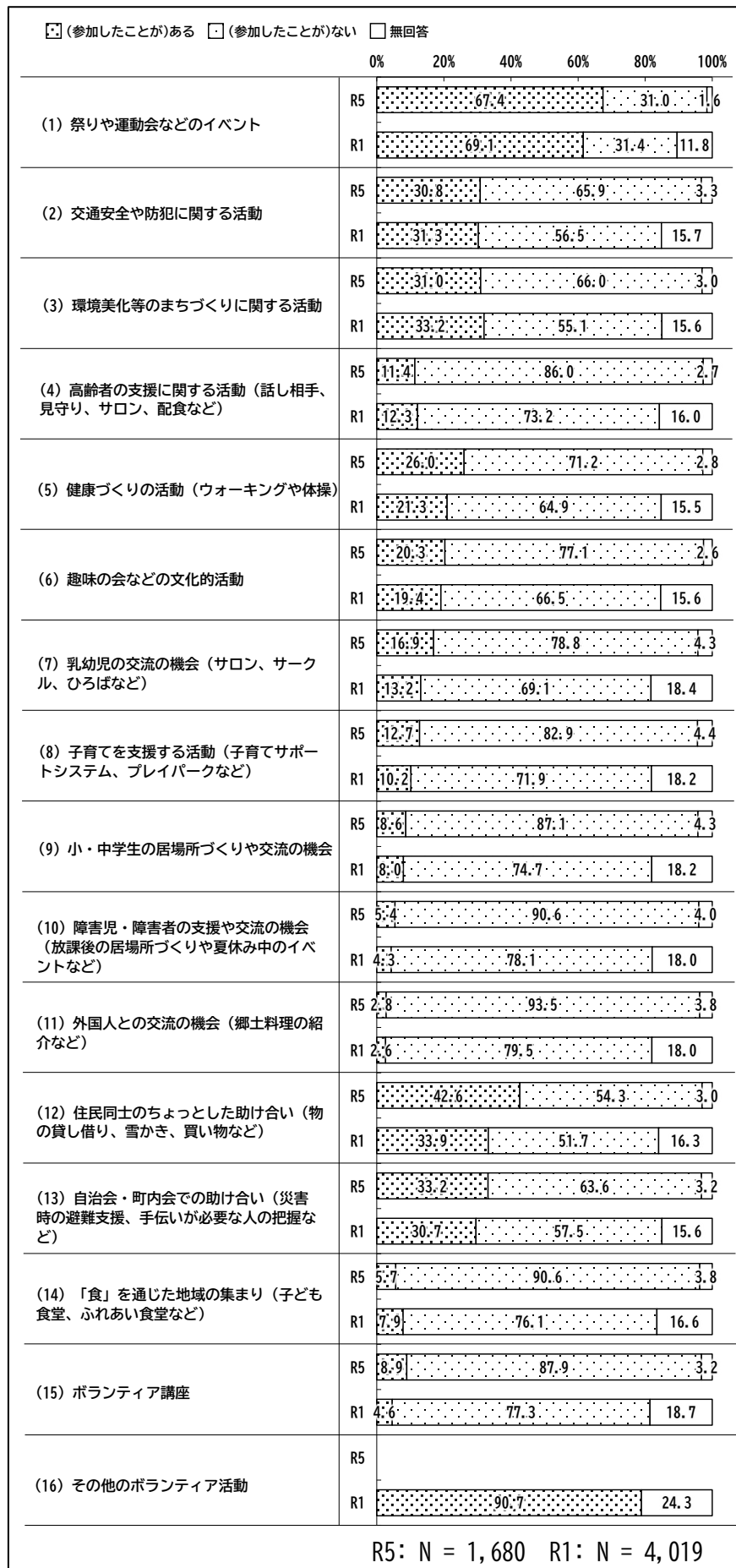


図 地域で行われている活動の参加有無